



119番「正しく使って」 南富良野高生が啓発

東さんら3人 消防署と連携

【南富良野】南富良野高ボランティア同好会の生徒3人が、道の駅「南ふらの」で119番の適正利用を呼びかけた。生徒自らが発案し、消防署の協力を得て実施した。活動のきっかけとなったのは1年の東優伸さん（16）。札幌市出身で、小学生の時に放水体験イベントに参加したことから消防士を志しており、富119番の適正利用を呼びかけた、東さん（写真右端）らボランティア同好会のメンバーらと連携して企画した。

9日に行い、同支署の3人も加わった。生徒たちは「正しく使おう119番」「病院へ行くか救急車を呼ぶか迷った時は#7119」と記した手作りの看板を掲げ、道の駅利用者にチラシを手渡ししていった。東さんは「活動を通して正しい119番の使い方を知ってもらえたらうれしい」と話した。

同支署によると、119番の中には救急搬送ではなく通院目的やいたずらといった電話もあるという。米木直人消防司令補（35）は「高校生のうちから消防の仕事に興味を持ち、啓発を手伝ってくれるのは非常にうれしい」と話した。

（川上舞）